

Webまたはアプリケーションを介したワイヤレスローカルエリアネットワークの作成

目的

この記事の目的は、Cisco Business Wireless(CBW)プライマリアクセスポイント(AP)のWebユーザインターフェイス(UI)を使用して、ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)ネットワークを作成、表示、および有効/無効にすることです。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、[Cisco Business:新用語一覧](#)。

メッシュネットワークの基本を学習したい場合は、次の項目を確認してください。

- [シスコのビジネス:ワイヤレスメッシュネットワークへようこそ](#)
- [Cisco Business Wireless:よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

Web UIの代わりにモバイルデバイスアプリケーションを使用してWLANを作成するには、記事の上部にあるトグルをクリックします。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- 140AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 145AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 240AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新のダウンロード](#))

概要

CBW APは802.11 a/b/g/n/ac(Wave 2)ベースで、内部アンテナを備えています。これらのAPは、パフォーマンス、アクセス性、高密度ネットワークを実現する最新の802.11ac Wave 2標準をサポートします。

この記事では、メッシュネットワークに機器を使用します。CBWメッシュネットワークには、プライマリAP (140AC、145AC、または240AC) と、少なくとも1つのメッシュエクステンダが含まれている必要があります。

ワイヤレスネットワークをセットアップする際には、WLANの作成が不可欠です。

設定手順

この切り替えセクションでは、初心者ヒントを紹介합니다。

ログイン

プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。そのためには、Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco>と入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。クレデンシャルを入力します。プライマリAPにアクセスするには、Webブラウザに[https://\[ipaddress\]](https://[ipaddress]) (プライマリAPの) と入力します。

ツールのヒント

ユーザインターフェイスのフィールドに関する質問がある場合は、次のようなヒントを確認してください。 

メインメニューの展開アイコンを見つけるのに問題がありますか？

画面左側のメニューに移動します。メニューボタンが表示されない場合は、このアイコンをクリックしてサイドバーメニューを開きます。 

よく寄せられる質問 (FAQ)

まだ未回答の質問がある場合は、よく寄せられる質問(FAQ)のドキュメントを確認してください。 [FAQ](#)

手順 1

アクセスポイントがオンになっていない場合は、電源をオンにします。インジケータライトのステータスを確認します。LEDライトが緑色に点滅している場合は、次の手順に進みます。

アクセスポイントの起動には、約8 ~ 10分かかります。LEDは複数のパターンで緑色に点滅し、緑、赤、オレンジが急速に交互に繰り返された後、再び緑色に変わります。LEDの色の強度と色相には小さな変化があります。

手順 2

プライマリAPのWEB UIにログインします。Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco>と入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。認証情報を入力してください。

WebブラウザにプライマリAPのIPアドレスを入力してWEB UIにアクセスすることも、Cisco Business Wirelessアプリを使用してマイナーな設定変更を行うこともできます。

手順 3

WLANを作成するには、[Wireless Settings] > [WLANs]に移動します。次に、[Add new WLAN/RLAN]を選択します。

Action	Active	Type	Name	SSID	Security Policy	Radio Policy
	Enabled	WLAN	EZ1K	EZ1K	Personal(WPA2)	ALL
	Enabled	RLAN	DEFAULT_RLAN	DEFAULT_RLAN	Open	N/A

手順 4

[全般]タブで、次の情報を入力します。

- *WLAN ID*: WLANの番号を選択します
- *タイプ*: WLANの選択
- *Profile Name*: 名前を入力すると、SSIDに同じ名前が自動的に入力されます。名前は一意である必要があり、31文字を超えることはできません。

この例では、次のフィールドはデフォルトのままですが、異なる設定を行う場合に備えて説明を示します。

- *SSID*: プロファイル名もSSIDとして機能します。必要に応じて変更できます。名前は一意である必要があり、31文字を超えることはできません。
- *Enable*: WLANが動作するためには、これをイネーブルのままにしておきます。
- *無線ポリシー*: 通常は、2.4GHzおよび5GHzクライアントがネットワークにアクセスできるようにAllのままにしておきます。
- *Broadcast SSID*: 通常はSSIDを検出して、これを[Enabled]のままにしておきます。
- *ローカルプロファイルリング*: このオプションを有効にすると、クライアントで実行されているオペレーティングシステムが表示されるか、ユーザ名が表示されます。

[Apply] をクリックします。

Add new WLAN/RLAN×

General WLAN Security VLAN & Firewall Traffic Shaping Scheduling

WLAN ID 1

Type 2

Profile Name * 3

SSID * 3

WLANs with same SSID can be configured, unless layer-2 security settings are different.

Enable

Radio Policy ?

Broadcast SSID

Local Profiling ?

4✔ Apply✘ Cancel

手順 5

[WLAN Security]タブが表示されます。

この例では、次のオプションがデフォルトのままになっています。

- ゲストネットワーク、キャプティブネットワークアシスタント、およびMACフィルタリングは無効のままにしました。
- WPA2 Personal - Wi-Fi Protected Access 2 with Pre-shared Key (PSK) *Passphrase Format - ASCII*。このオプションは、事前共有キー(PSK)を使用したWi-Fi Protected Access 2(WPA2)を表します。

WPA2 Personalは、PSK認証を使用してネットワークを保護するために使用される方法です。PSKは、プライマリAP、WLANセキュリティポリシー、およびクライアントの両方で個別に設定されます。WPA2 Personalは、ネットワーク上の認証サーバに依存しません。

- *Passphrase Format:ASCII*はデフォルトのままです。

このシナリオでは、次のフィールドを入力しました。

- *Show Passphrase* : 入力したパスフレーズを確認するには、チェックボックスをクリックします。
- *Passphrase* : パスフレーズ (パスワード) の名前を入力します。
- *Confirm Passphrase* : 確認のためにパスワードをもう一度入力します。

[Apply] をクリックします。これにより、新しいWLANが自動的にアクティブになります。

Add new WLAN/RLAN

General **WLAN Security** VLAN & Firewall Traffic Shaping Scheduling

Guest Network

Captive Network Assistant

MAC Filtering

Security Type Personal

WPA2 WPA3

Passphrase Format ASCII

Passphrase * VerySecure 2

Confirm Passphrase * VerySecure 3

1 Show Passphrase

Password Expiry

4 Apply Cancel

手順 6

WEB UI画面の右上のパネルにあるSaveアイコンをクリックして、設定を保存してください。



WLANの表示

作成したWLANを表示するには、[Wireless Settings] > [WLANs]を選択します。アクティブなWLANの数が2に上がり、新しいWLANが表示されます。

1 Wireless Settings

2 WLANs 3

4

WLANs

Active WLANs 2 Active RLANs 1

Add new WLAN/RLAN

Action	Active	Type	Name	SSID	Security Policy	Radio Policy
<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled	WLAN			Personal(WPA2)	ALL
<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled	WLAN	DataSecure	DataSecure	Personal(WPA2)	ALL
<input checked="" type="checkbox"/>	Enabled	RLAN	DEFAULT_RLAN	DEFAULT_RLAN	Open	N/A

WLANの有効化または無効化

WLANの設定の最後にApplyをクリックすると、WLANが自動的にアクティブになります。WLANを無効にする必要がある場合、または無効になっているWLANを有効にする必要がある場合は、次の手順を実行します。

手順 1

[Wireless Settings] > [WLANs/RLANs]に移動します。有効または無効にするWLANの横にある[Edit]アイコンをクリックします。

Action	Active	Type	Name	SSID	Security Policy	Radio Policy
	Enabled	WLAN			Personal(WPA2)	ALL
	Enabled	WLAN	DataSecure	DataSecure	Personal(WPA2)	ALL
	Enabled	RLAN	DEFAULT_RLAN	DEFAULT_RLAN	Open	N/A

手順 2

[Edit WLAN/RLAN] ウィンドウの[General] で、[Enabled] または[Disabled] を選択して WLAN/RLANを有効/無効にします。[Apply] をクリックします。

WLAN ID: 1

Type: WLAN

Profile Name *: EZ1K

SSID *: EZ1K

WLANs with same SSID can be configured, unless layer-2 security settings are different.

2 Enable

Radio Policy: ALL

Broadcast SSID

Local Profiling

3

手順 3

WEB UI画面の右上のパネルにあるSaveアイコンをクリックして、設定を保存してください。



結論

これで、CBWネットワークにWLANが作成されました。お楽しみください。必要に応じて追加することもできます。

目的

この記事の目的は、Cisco Business Wireless ApplicationとCisco Business Wireless(CBW)Networkを使用して、ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)ネットワークを作成、表示、および有効/無効にすることです。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、[Cisco Business:新用語一覧](#)。

メッシュネットワークの基本を学習したい場合は、次の項目を確認してください。

- [シスコのビジネス:ワイヤレスメッシュネットワークへようこそ](#)
- [Cisco Business Wireless:よく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

モバイルアプリケーションの代わりにWebユーザインターフェイス(UI)経由でWLANを作成するには、このドキュメントの上部にあるトグルをクリックします。Web UIを使用する場合は、アプリに比べてさらに高度なオプションを設定できます。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- 140AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 145AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 240AC ([データシート](#)) | 10.0.1.0 ([最新のダウンロード](#))

概要

Cisco Business Wireless(CBW)アクセスポイント(AP)は、802.11 a/b/g/n/ac(Wave 2)ベースで、内部アンテナを備えています。これらのAPは、パフォーマンス、アクセス性、高密度ネットワークを実現する最新の802.11ac Wave 2標準をサポートします。

この記事では、メッシュネットワークに機器を使用します。CBWメッシュネットワークには、プライマリAP (140AC、145AC、または240AC) と、少なくとも1つのメッシュエクステンダが含まれている必要があります。最大16のWLAN/RLANをCBWプライマリAPに関連付け、合計16のWLAN/RLANを作成できます。最大4つのWLANを推奨します。プライマリAPは、設定済みのすべてのWLANを、接続されているすべてのAPに割り当てます。

携帯電話でCisco Business Appを使用して、アクセスポイントを監視および管理できます。Androidバージョン5.0以上またはiOSバージョン8.0以上が必要です。次の画像は、Android IOS電話機のもので、デバイス、オペレーティングシステム、およびソフトウェアのバージョンによって異なるため、表示オプションは、ここに示す表示オプションとは少し異なる場合があります。

設定手順

この切り替えセクションでは、初心者のヒントを紹介します。

シスコビジネスアプリケーション

これらのデバイスには、Webユーザインターフェイスと一部の管理機能を共有するコンパニオンアプリケーションがあります。Webユーザインターフェイスのすべての機能がアプリで使用できるわけではありません。

[iOSアプリのダウンロード](#) [Androidアプリのダウンロード](#)

よく寄せられる質問 (FAQ)

まだ未回答の質問がある場合は、よく寄せられる質問(FAQ)のドキュメントを確認してください。 [FAQ](#)

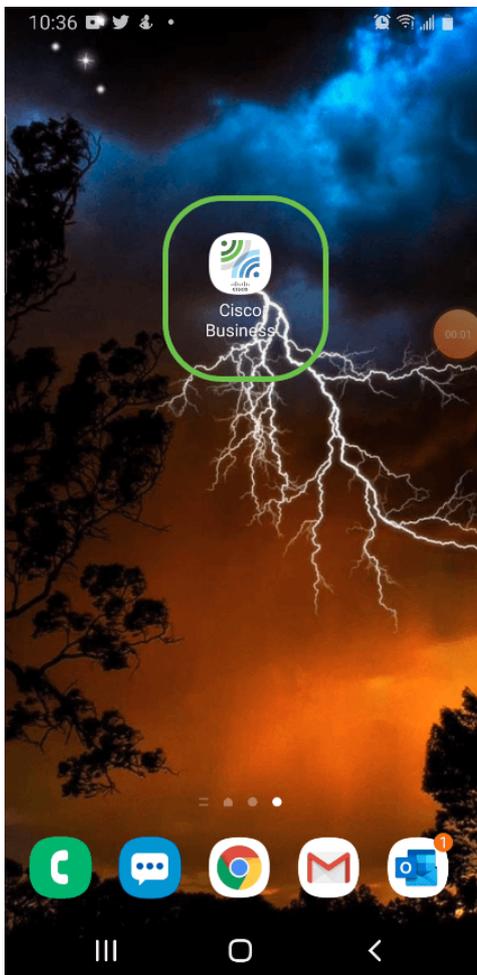
手順 1

アクセスポイントの電源を入れます。インジケータライトのステータスを確認します。LEDライトが緑色に点滅している場合は、次の手順に進みます。

APの起動には、約8 ~ 10分かかります。LEDは複数のパターンで緑色に点滅し、緑、赤、オレンジが急速に交互に繰り返された後、再び緑色に変わります。LEDの色の強度と色相には小さな変化があります。

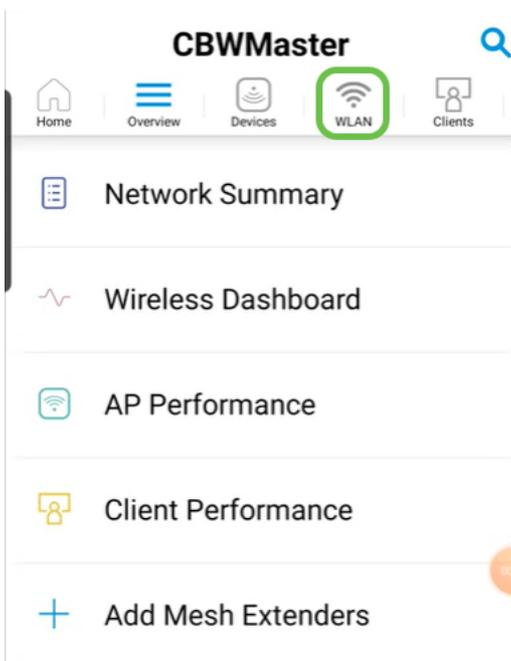
手順 2

iTunesまたはGoogle PlayからCisco Business Mobileアプリケーションをダウンロードします。



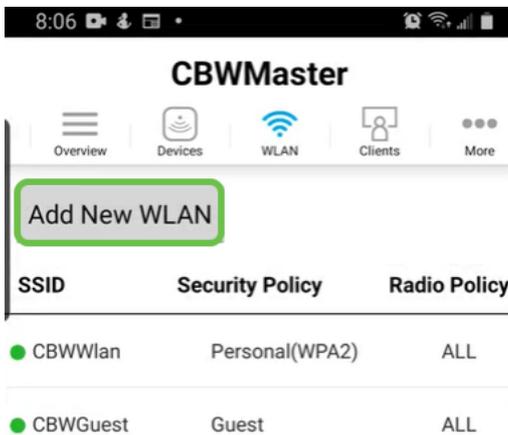
手順 3

モバイルでシスコビジネスワイヤレスネットワークに接続します。アプリケーションにログインします。ページ上部の[WLAN]アイコンをクリックします。



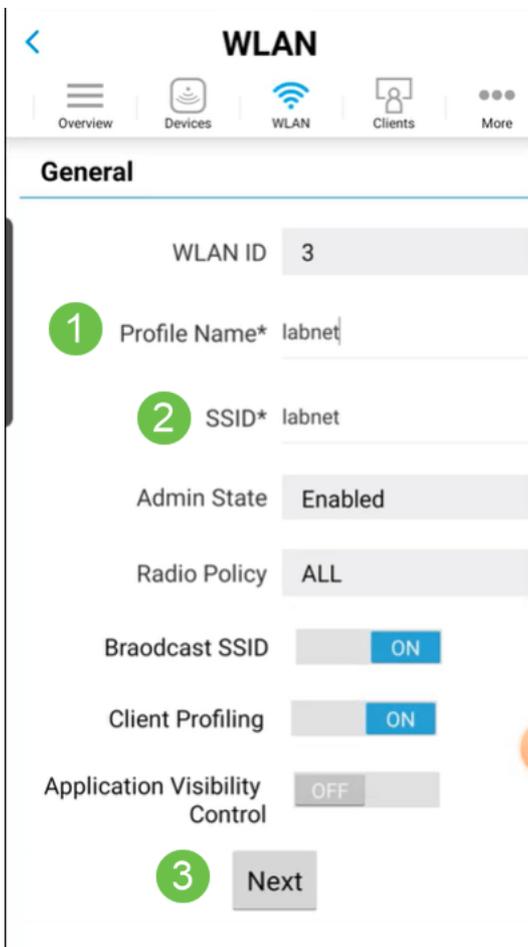
手順 4

[Add New WLAN]画面が開きます。既存のWLANが表示されます。[Add New WLAN]を選択します。



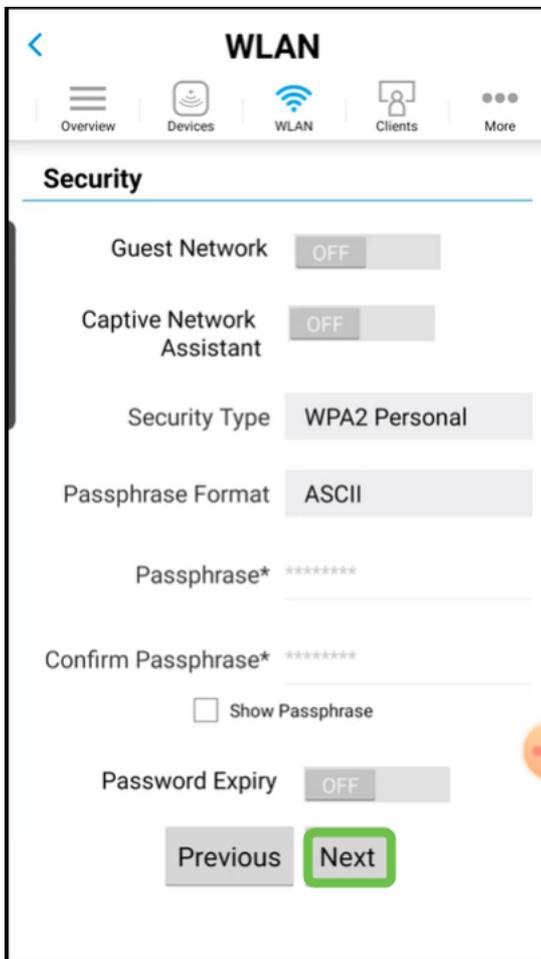
手順 5

プロファイル名とSSIDを入力します。残りのフィールドに入力するか、デフォルト設定のままにします。Application Visibility Controlを有効にした場合は、ステップ6で説明した他の設定が表示されます。[次へ]をクリックします。



ステップ 6 (オプション)

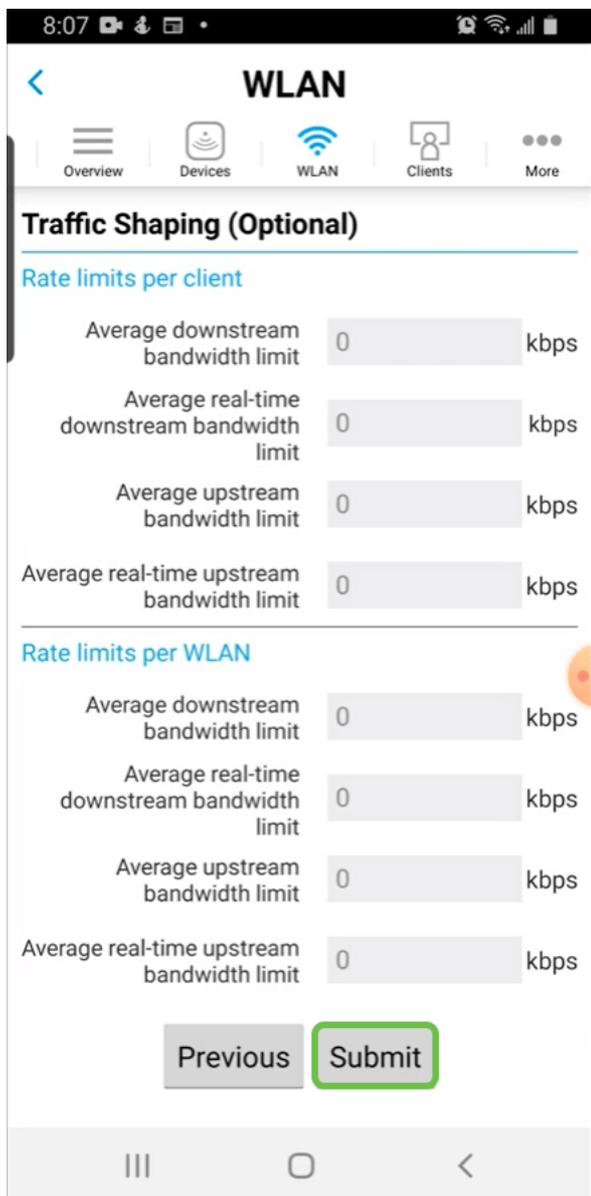
ステップ5でApplication Visibility Controlを有効にした場合は、ゲストネットワークを含む他の設定を行うことができます。詳細については、を参照してください (準備ができれば記事をリンクしてください)。Captive Network Assistant、Security Type、Passphrase、Password Expiryもここに追加できます。すべての構成を追加したら、[次へ]をクリックします。



モバイルアプリケーションを使用する場合、[セキュリティの種類]のオプションは[開く]または[WPA2 Personal]のみです。より高度なオプションについては、代わりにプライマリAPのWeb UIにログインします。

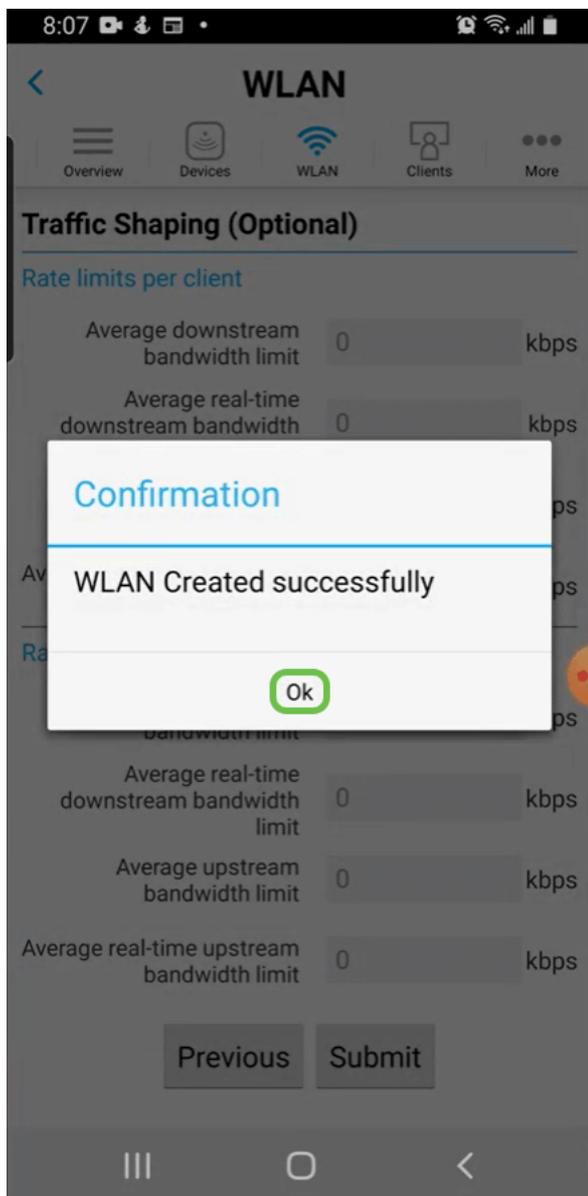
ステップ 7 (オプション)

この画面には、トラフィックシェーピングのオプションが表示されます。この例では、トラフィックシェーピングは設定されていません。[Submit] をクリックします。



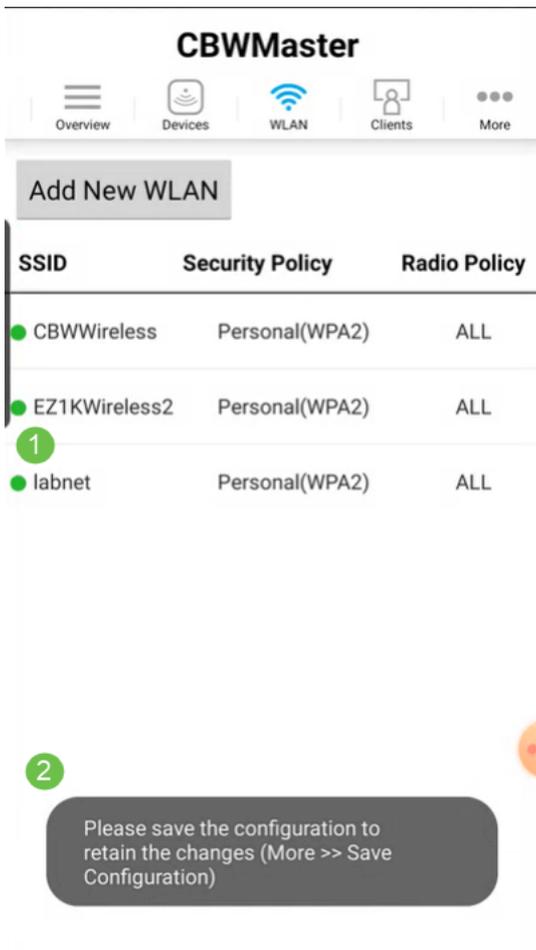
手順 8

確認のポップアップが表示されます。[OK] をクリックします。



手順 9

ネットワークに追加された新しいWLANと、設定を保存するためのリマインダが表示されます。



手順 10

[詳細]タブをクリックして構成を保存し、ドロップダウン・メニューから[構成の保存]を選択します。



結論

行け簡単だ！新しいWLANをお楽しみください。

[メッシュの概要](#) [メッシュFAQ](#) [Cisco Business Wireless Model Decoder](#) [再起動のヒント](#) [工場出荷時のデフォルトにリセット](#) [ゼロデイ：アプリ/Web経由で設定](#) [モバイルアプリとWeb UI](#) [シスコビジネスワイヤレスメッシュネットワークのベストプラクティス](#) [許可リスト](#) [ソフトウェアの更新](#) [CBWアプリケーションについて](#) [トラブルシューティング](#) [時間設定](#) [赤色LEDのトラブルシューティング](#) [ブリッジグループ名](#)